

◆日本教材学会第 29 回研究発表大会（千葉大会・聖徳大学）ご案内（9/12版）

第 29 回研究発表大会での概要が決まりましたので、下記の通り案内させていただきます。

◆日 時 : 平成 29 年 10 月 21 日(土)・22 日(日)

◆会 場 : 聖徳大学 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550 TEL047-365-1111(代)

なお、各発表の内容（概要 2 頁）は、9 月中旬に学会のホームページに掲載予定です。

10月21日(土) 受付:9時45～ (会場:聖徳大学)

9:45 10:15 12:20 12:55 13:05 13:50 14:00 16:00 16:10 18:10 18:25 20:25

受 付	・研究発表① (各発表25分) [発表20分、 質疑5分] 〈5会場〉 ・ポスター発表 〈1会場〉	昼食 休憩 ・ 移動	移 動	総 会	移 動	・研究プロジ ェクト (8研究プロ ジェクト) (120分)	移 動	シンポジウム 「物語教材に おける言語と 思考—保幼小 連携を踏まえ た教材の考え 方—」(120分)	移 動	情 報 交 換 会
		理 事 会								

10月22日(日) 受付:9時45分～ (会場:聖徳大学)

9:45 10:15 12:20

受 付	・研究発表② (各発表25分) [発表20分、 質疑5分] 〈5会場〉
--------	---

【研究発表①】21日 10:15～12:20

〈第1会場〉算数・数学科(3202教室 3号館2階) (20分発表、5分質疑)

10:15～10:40〈第1会場①〉 村田 翔吾

中学校数学科における円外接線の作図の位置に関する一考察 —作図に関する命題の系列に着目して—

10:40～11:05〈第1会場②〉 砂田 大樹

『数学 第二類』における地図投影法に関する教材の特徴と価値 —空間の想像力との関連に焦点を当てて—

11:05～11:30〈第1会場③〉 松本紘一

学校数学における「かくこと」を促進する教材に関する一考察 —「式による説明」を事例として—

11:30～11:55〈第1会場④〉 栗原 和弘

学校数学における代数的構造の学習指導のための教材に関する一考察

〈第2会場〉算数・数学科 (3203 教室 3号館2階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第2会場①〉 満島 夏実

テストにおいて主体的・対話的で深い学びを実現するための研究—算数のテストを用いて—

10:40~11:05〈第2会場②〉 中原 朝陽

学校数学における不確実性下での意思決定力の育成に関する研究

11:05~11:30〈第2会場③〉 花園 隼人

数学対象の感得を促す教材の発展の方向性に関する一考察

11:30~11:55〈第2会場④〉 坂井 希美子

乗九九習得のための教材に関する研究—教科書で用いられているアレイ図の比較を通して—

〈第3会場〉生活科、総合的な学習 (3301 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第3会場①〉 小野沢美明子

関係概念としての「教材開発」の再解釈—総合学習の実践に着目して—

10:40~11:05〈第3会場②〉 望月 惇平 (4名の共同研究)

子供が主体的に課題を解決するための学習過程の考察—学校環境に関わる教科横断的な学習を通して—

11:05~11:30〈第3会場③〉 細矢 智寛

自己調整学習における教授方法—CORI (Concept Oriented Reading Instruction) の教材分析を中心に—

11:30~11:55〈第3会場④〉 中村 俊哉

生活科における「生命」にかかわる実証的研究(1)—種子についての生命認識を中心として—

11:55~12:20〈第3会場⑤〉 澁谷 あゆみ

違いを認め、排除しない集団づくり—多面的な見方を育てる教育活動の開発—

〈第4会場〉社会科、生活科、特別活動、幼児教育 (3302 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第4会場①〉 藤井 太亮

絵画資料を通した歴史像の形成—中学生への調査をもとに—

10:40~11:05〈第4会場②〉 金子 実 (2名の共同研究)

学校内歴史資料室の整備と活用(2)—時代を感じながら学ぶことができる資料室をめざして—

11:05~11:30〈第4会場③〉 佐島 群巳 (7名の共同研究)

ビオトープの教育資源活用に関する研究(6)—子どもの学びの実感を高める活動デザイナー—

11:30~11:55〈第4会場④〉 根本 徹 (7名の共同研究)

園外保育における環境体験(6)—周辺環境を活かした園外保育の実際と課題—

11:55~12:20〈第4会場⑤〉 宮川 秀俊 (2名の共同研究)

多文化共生のための教材の理念と実践に関する研究—保育・幼児教育の日本語教材について—

〈第5会場〉技術科、教育方法等 (3303 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第5会場①〉 渡津 光司 (4名の共同研究)

中学校技術・家庭科技術分野におけるDL材を使った設計学習について

10:40~11:05〈第5会場②〉 皆川 順 (2名の共同研究)

プレゼンテーションは学習者の内容記憶に効果的か—パーソナルコンピューターおよび実物投影機を用いて—

11:05~11:30〈第5会場③〉 坂 敬介

多忙化する学校の中でも心を動かす授業づくりの事例(道徳科編)—今こそ動画(テレビ放送)を使った授業を—

11:30~11:55〈第5会場④〉 田中 浩之

学生援農隊による農業振興—地域活性化のお手伝い—

11:55~12:20〈第5会場⑤〉 市川 洋子

対話による評価ツールとしての「学習履歴図」

【ポスター発表】 21日 10:15~12:20 〈メディアラウンジ 1号館4階〉

- ①. 林 韓燮 (2名の共同研究) 創作絵本をデータ化したデジタル絵本の実践および活用方法について
- ②. 江田 理一郎 ネット購入における購入者レビューと出版社側コメントの比較
- ③. 小原 貴恵子 (4名の共同研究) フィールドワークを通じた学生の学び
ー保育者を目指す学生のコンピテンシーに焦点をあててー
- ④. 後藤 由美 食育に関する保育者の課題意識と教材視点の一考察ー保育者が目指す食育教材とはー
- ⑤. 新谷 しづ恵 中学生における遺伝の学習に及ぼす先行オーガナイザーの効果
- ⑥. 徳田 克己 (3名の共同研究) 幼児雑誌の内容分析ー女兒向けの雑誌を中心にー
- ⑦. 西舘 有紗 (3名の共同研究) 障害理解授業の実践において用いられてきた教育方法の課題
- ⑧. 西村 実穂 (3名の共同研究) 医療的配慮が必要な子どもの保育を行うための保育者用教材の開発1
ー水頭症の子どもの保育についてー
- ⑨. 八田 友和 『実物資料データベース』を活用した歴史教材の活用
- ⑩. 伴 浩美 英文の子育て相談Q&Aの計量的文体解析
- ⑪. 伴 浩美 工学系大学院におけるTOEIC対策集中講座に関する一考察
- ⑫. 藤重 育子 保育者による児童文化財の捉え方に関する研究
- ⑬. 水野 智美 (2名の共同研究) 今の幼児は童謡・唱歌を歌っているか

＝昼食休憩＝ 21日 12:20~13:05

【総会】 21日 13:05~13:50

【研究プロジェクト】 21日 14:00~16:00

- ① 「教科書を評価する」
- ② 「発見・創造(見つける・創り出す)の再考」
- ③ 「主体的・対話的な深い学びをどう進めるか」
- ④ (研究プロジェクト④は【シンポジウム】として16:10より実施します)
- ⑤ 「図書教材の価値と可能性」
- ⑥ 「ESDと教材」
- ⑦ 「理科学習における個人教材の有用性と教材開発」
- ⑧ 「次期学習指導要領への対応におけるプログラミングを取り入れたデジタル教材等の開発」

【シンポジウム】 21日 16:10~18:10「物語教材における言語と思考ー保幼小連携を踏まえた教材の考え方ー」

【情報交換会】 21日 18:25~20:25

【研究発表②】 22日 10:15~12:20

〈第6会場〉算数・数学科 (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第6会場①〉 春日 学

小学校算数科の授業における「トピック教材」の意義と課題

10:40~11:05 〈第6会場②〉 川上 貴

小学校教師の算数教材に対する捉え方についてー「現実の世界」と「数学の世界」を視点としてー

11:05~11:30 〈第6会場③〉 渡会 陽平

異種の2量の割合として捉えられる量を表す表現“あたり”の用い方に関する研究

11:30~11:55 〈第6会場④〉 澁谷 久

数学教育における自己を導く道具としての「ノート学習具」に関する一考察

11:55~12:20 〈第6会場⑤〉 矢田 敦之

算数科「表」の入門期における関数指導に関する一考察ー表、式、図の有機的関連に着目してー

〈第7会場〉理科 (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第7会場①〉 澤柿 教淳

昭和基地における南極観測活動に関わる教材の改良とその運用
ー映像教材に体験型コンテンツを付加する試みー

10:40~11:05 〈第7会場②〉 小林 優子

国際バカロレアのTOKにおける『科学の本質 (NOS)』の教授

11:05~11:30 〈第7会場③〉 前田 善仁

中学校理科教科書および学習参考書・理科資料集の記述に関する一考察ー生物の系統樹をとおしてー

11:30~11:55 〈第7会場④〉 小松 幸廣

自然エネルギー教材の開発ー風力発電機製作教材ー

11:55~12:20 〈第7会場⑤〉 中川 徹夫

ペットボトルのキャップを用いた水溶液の性質に関するマイクロスケール実験教材の開発

〈第8会場〉保健・体育科、道徳教育 (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第8会場①〉 鈴木 一成

50m 走の記録工場を目指した「パタパタ君」を用いた小学校体育授業実践

10:40~11:05 〈第8会場②〉 市河 大 (3名の共同研究)

体育における主体的・対話的で深い学びの検証ープレルボールの実践を通してー

11:05~11:30 〈第8会場③〉 東風 安生

評価との結び付きを考えた道徳ノートの活用について

11:30~11:55 〈第8会場④〉 荻野 貴美子 (3名の共同研究)

看護師の視点から老年期について説明を行い、老年期とその老いについて考える
ー道徳テキスト「一冊のノート」を読み解くー

11:55~12:20 〈第8会場⑤〉 伊藤 裕泰

「考え、議論する道徳」における教材の要件

〈第9会場〉外国語、国語、音楽科 (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第9会場①〉 長谷川淳一

中学校英語教科書における題材の変遷

10:40~11:05 〈第9会場②〉 田中 裕美

プレゼンテーションソフトを用いたアクティブ・ラーニング型授業の実践

11:05~11:30 〈第9会場③〉 山口 隆司

読み聞かせでの感情認知に関する実証的研究

11:30~11:55 〈第9会場④〉 丹間 康仁

校歌に込める教育的意図の対立と調整の構図ー作詞・作曲をめぐる協議過程の分析ー

〈第10会場〉生活・総合的な学習 (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第10会場①〉 松永 幸子

教材としての被爆者と被爆者講和

10:40~11:05 〈第10会場②〉 土井 進

必修科目「地域活動と社会貢献」の導入教材として実施した「さんぽ」の意義

11:05~11:30 〈第10会場③〉 石橋 昌雄 (6名の共同研究)

「人と人の関わり」に関するカリキュラム開発=低・中学年の「思考力」を育てる活動の工夫=

11:30~11:55 〈第10会場④〉 後藤 千恵子 (5名の共同研究)

「人と人の関わり」に関するカリキュラム開発=高学年の「思考力」を育てる活動の工夫=